

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています

2015年9月1日発行
NO.423



SEPTEMBER

9

第46回 病院学会

聖 隷 浜 松 病 院

市民健康セミナー

輝くシニアライフ！

「見えない」「聞こえない」「歩けない」を
予防していつまでも健やかに！

入場
無料

予約不要

日時 **9/27**日
13:30～16:30
(13:00開場)

会場 **えんてつホール**
(遠鉄百貨店 新館8階)

- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介 眼科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト 視能訓練士 P-6

病院理念

私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合 聖隷浜松病院
病院

第46回 病院学会

聖隷浜松病院

市民健康セミナー

日時 9/27(日) 会場 えんてつホール
(遠鉄百貨店 新館8階)

「老いてますます盛ん!」シニア世代のみなさん、人生を大いに楽しもうではありませんか!! 今回の市民健康セミナーでは、生活の質を下げる3大要因「見えない」「聞こえない」「歩けない」について、専門医が詳しく解説します。視力・聴力・骨密度測定などをまじえ、みんなですべて予防に取り組みましょう。

この機会を是非お見逃しなく!

入場
無料

予約不要

視力・聴力・骨密度
測定が体験できる
コーナーもあります!

プログラム

- ▶ 13:30 開会
- ▶ 13:35~ 院内研究発表会 最優秀演題発表
- ▶ 13:50~ 講演「シニア世代の目を守るには」
- ▶ 14:40~ 講演「高齢者の聞こえのトラブル」
- ▶ 15:30~ 講演「一生、歩き続けるために」
- ▶ 16:10~ ボランティア表彰
- ▶ 16:30 閉会

講演

13:50~ 「シニア世代の目を守るには」

講師 尾花 明 (聖隷浜松病院 眼科 部長)
《専門領域》加齢黄斑変性等の網膜硝子体疾患
黄斑手術

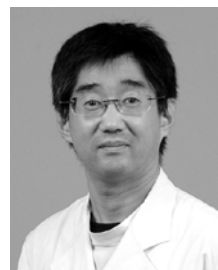
高齢者の代表的な目の病気、「白内障」、「加齢黄斑変性症」の最新治療をご紹介しますとともに、たいせつな視力を守るために日常生活で気をつけることをお話します。



14:40~ 「高齢者の聞こえのトラブル」

講師 大嶋 吾郎 (聖隷浜松病院 耳鼻咽喉科 医長)
《専門領域》耳鼻科一般

年を重ねてくると聞こえが悪い方が増えてきます。しかし、原因によっては治療すれば良くなる難聴も色々あります。あなたや御家族の「きこえ」はどうですか?



15:30~ 「一生、歩き続けるために」
— 今からできるロコモ対策 —

講師 **森 諭史** (聖隷浜松病院 整形外科 部長)
《専門領域》 関節外科 (股関節 膝関節)、
関節リウマチ、小児、骨粗鬆症

平均寿命が延びて80、90歳まで生きるのが当たり前の時代が来ました。もし長生きしたら、あなたは死ぬまで自分の脚でトイレに行ける自信がありますか？あなたに忍び寄る「ロコモ」を早く見つけて今から対策しましょう。



院内研究発表会を開催!!



7月に院内で研究発表会を開催し、各部署での研究や業務改善の取り組みなど、15演題の発表がありました。厳正な審査で選ばれた最優秀演題は、本セミナーでも発表されます。

▶最優秀演題 看護部 (MFICU)

「MFICUでの妊娠期の保健指導 — お腹の中からはじめる子育て —」

お問合せ窓口

病院学会企画委員会事務局 (聖隷浜松病院 学術広報室内)

TEL. 053-474-2753 (平日9:00~17:00)

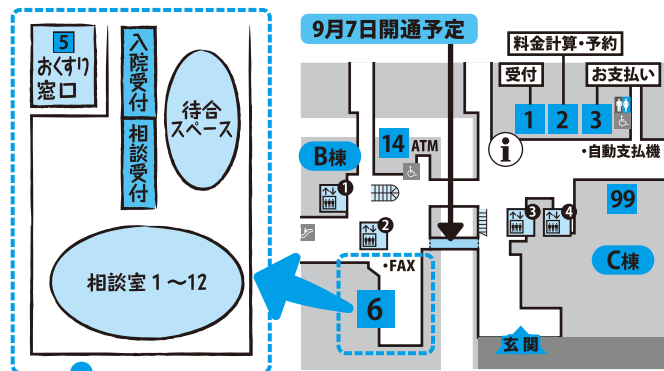
インフォメーション

患者支援センターのご案内

入院前後に療養に関する様々なお困り事や不安な事などを抱える患者さん・ご家族をサポートするために、院内の各種相談、入退院支援の窓口をB棟1階 (旧総合受付跡) に集約しました。

これまで分散していた窓口が1カ所にまとまったことで、院内でのご移動がぐっと短くなり、便利にご利用いただけます。

6 患者支援センター



9月14日~

総合相談

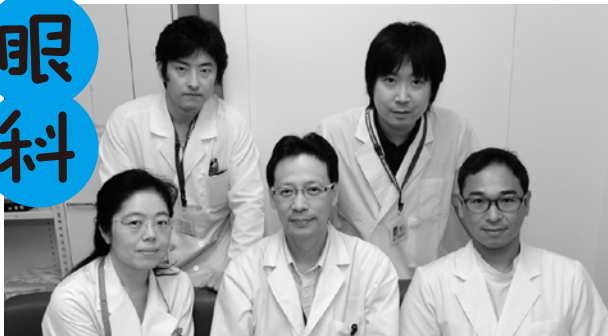
- 医療福祉相談
- 看護相談
- 介護保険相談
- がん相談
- 医療安全相談
- 遺伝相談

9月7日~

入院・退院支援

- 入院受付
- 退院調整
- 在宅連携
- 紹介・逆紹介

眼科



“見える喜び” 一生保つには？

人は情報の80%以上を目から得ています。特に、車社会の浜松では運転免許に必要な視力(両眼で0.7以上)が重要ですが、大切な目を守るにはどうすればよいでしょう？

白内障は誰でも老化で起こり、最近は90歳を超えて手術を受ける方が増えています。でも、体力や気力が低下してからの手術は本人のみならず家族も大変なので、体力に余力のある70~80歳台に手術を考えてみてください。また、高齢化で増加しているのが加齢黄斑変性と緑内障でどちらも一生続く病気です。粘り強く治療を続けましょう。昔は珍しかった高齢者の網膜剥離やブドウ膜炎も増加中です。日頃から片目ずつ見え方をチェックし早期発見に努めましょう。眼科は最新技術で皆さんの目の健康維持をサポートします。

なお、加齢黄斑変性をわかりやすく解説した『加齢黄斑変性といわれたら』(尾花明著、眼鏡光学出版)を刊行しました。皆さんのお役にたてば幸いです。

文責:眼科 尾花 明(写真 前列中央)

診療を支える
スペシャリスト

視能訓練士

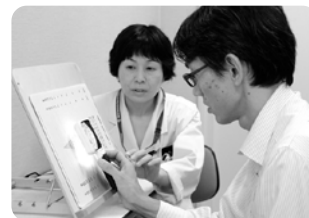
ひとりひとりの 『見る』を 支えます



眼科検査室には視能訓練士10名、眼科検査助手1名のスタッフが在籍しています。眼科・眼形成眼窩外科医師の指示のもと、乳幼児からご年配の方まで、幅広い年齢の皆さんに検査を行っています。

眼の検査といえば、視力や眼圧の検査を思い浮かべる方が多いと思いますが、患者さんひとりひとりの眼の状態を知るために、これらの検査のほかにも眼底検査・視野検査・眼球運動検査などとても大切な検査を行っています。

また、最近ではロービジョンケアにも力を入れています。眼の病気が原因で「見る機能」が狭まってしまっても、その機能をうまく活用することで日常生活をより快適に過ごしていただくための支援を行っています。



▲ロービジョン検査の様子(イメージ)

患者さんが直面している不自由さを理解し、ひとりひとりの『見る』を医師と共に支えていきます。

文責:視能訓練士 守山 貴宣(写真 前列中央)



聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診時選定療養費として3,240円を別途ご負担いただいています。

当院は、地域医療支援病院として急性期医療を担い、「かかりつけ医(診療所等)」と役割を分担する病診連携を推進しています。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

また予約時には、症状や診療科の確認等が必要となることがあります。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。

やむを得ず患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ **地域医療連絡室(JUNC)** ☎053-474-8801
(月～金曜 9:00～17:00・土曜 9:00～12:00 / 祝祭日を除く)

再診の方へ 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがありますのでお控えください。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡をお願いいたします。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ **外来受付センター** ☎053-474-0100 (月～金曜 13:00～16:45)

面会の方へ

面会時間…(月～土曜) 14:00～20:00、(日曜・祝日) 10:00～20:00

- 産科・小児科病棟の面会者はC棟1階で手続きをお願いいたします。
- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会をご遠慮いただいています。
発熱 / 咳・痰 / 原因不明の発疹 / 嘔吐・下痢



社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合病院 **聖隷浜松病院**

ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222
発行責任者 病院長 鳥居 裕一